



ステップ

第7号 1997年1月20日

発行人/北見土木技術協会

〒090 北見市北5条東2丁目
北見市都市建設部土木課内
TEL0157-25-1161

自然を残す大切さを実感

石山緑地などを見学 — 道内研修 —

北見土木技術協会の研修見学委員会による道内研修が平成8年10月31、11月1の両日、行われました。今回は参加人員20名で現場見学を中心に行いました。

〈1日目〉

朝一番で北見を立ち、バスに揺られること6時間、最初の見学地である「石山緑地」に着き、係員の説明後に各所を見学した。

「ふるさと文化百選」にも選ばれた札幌軟石の石切り場跡地は、その特異な景観を生かすと

ともに「自然」「時間」「芸術」というテーマを持たせた公園となっていた。

垂直に切り立った岩、整然と並ぶ均一な面を持つ岩が芸術家の設計の元に配置されているさまは、意味深で不思議な空間をかもしだしていた。

見学地の

石山緑地
幌平橋
精進川



土木の技術や事業を周知

7回目を迎えた「土木の日」の各種行事が平成8年10月12、11月15、17、24の4日間「土木の日実行委員会」が中心となり、開催されました。

初日12日の市民現場見学会では、一般参加の方々と事務局を含めて34名が参加し、「水」に因んだ施設の見学会として、常呂川第2頭首工、下水道浄化センター、仁頃名水公園、富里ダム、

西相内大橋牧場のし尿処理施設を見学しました。

11月15日の北見工業大学で行われた映画会では、十勝大橋の下部工・上部工と千歳川放水路の映画を上映し、学生達を中心に124名が参加して北海道における土木工事の現場状況や土木技術等について学びました。また、参加者に抽選で記念品を提供いたしました。

また、11月18日から24日までの7日間、市民サービスセンターで、小学生図画コンクールの応募作品の展示会を行いました。

同展示会場で11月24日に作品の中から「土木の日実行委員長賞」「土木の日副実行委員長賞」「北見土木技術協会賞」など優秀作には豪華な賞品が、また、参加者にも参加賞が贈呈されました。

11月17日の「土木の日」のイベントは、駅前広場で行われました。土木機械のミニチュアや測量器械の展示、ミント君やペッパーちゃんと一緒に写真撮影したり、風船の配布やお楽しみ抽選会等を実施し、皆さんに土木工事や測量など土木事業や技術に親しんでいただきました。当日は晴天にも恵まれ、多くの家族連れで賑わいを見せていました。

第7回
「土木の日」
各種行事



岩は、主に軟石でインド産のみかげ石が点在。休憩場の椅子も磨かれた石を使い、配置にもこだわっているようだった。メイン広場は、コンサート等も開かれるなど文化ホールとしての利用も出来る空間だった。

土木技術の上に成り立つ芸術的空間である、石山緑地からは、このような施設が今後増えること、そして施工者や発注者側のセンスも問われる時代が来たことを強く感じた。

〈2日目〉

朝一番で豊平川に架かる「幌平橋」を見学に行った。もともと交通量の多い橋なので、開通するまでの約2年間、仮橋を利用した。車道部橋の構造は、3径間連続鋼床版箱桁橋で、橋長は160.6m、幅員は車道部16.0m、歩道部3.0mとなっている。

歩道部橋は単弦アーチで補剛された3径間連続鋼床版箱桁橋。橋長は160.6m、幅員は平均17.45mで、車道部以上に広くとられ、今までにない橋を強く印象づけている。歩いてみると橋というよりは、広場の感が強く、植樹帯やモニュメントなどの構造物

にもデザインや配置などが工夫され、有意義な空間の演出が見られた。

最後の見学地である「精進川」は、最近注目されている河川の近自然化工法を取り入れた川で、70年代に積ブロックによる護岸を行い柵を設け、人が近づけないようにしてあったが、元の自然に戻そうといった事業（ふるさと川のづくり）によって、人手で自然を取り戻した河川である。

見学してみると、町中を流れる川のわりには水がきれいだった。マガモがいたり、クレンソウが自生しており、自然が戻ってきているようだ。また、以前とは違って市民が水辺に近寄ることが可能になり、自然を身近に感じられるようになった。これが何よりの事業の成果だと思われる。

今回の研修会を通して、参加者は自然に逆らわず利用し、残していくことの大切さを、紅く染まりつつある自然の中で感じていたようでした。

(北見市土木課 鈴木明人 記)

立松和平さん迎え講演会

開基100年記念し、土木技術協会など主催

北見市の開基100年を記念して、作家立松和平さんの講演会「自然の声を聴こう」が平成8年7月17日、北見市民会館で開催されました。

この講演は、北見市、市教委、北見土木技術協会が主催。自然や緑の大切さに目を向けてもらおうと、環境保護や自然をテーマにテレビ番組や著作活動で活躍している立松さんを講師に迎えました。

立松さんは'93年に北見市で開かれたソーラーカーレース、ソーラーチャレンジに出場したほか、斜里町で農園をつくる計画をもっているなど網走管内とは縁の深い人です。

立松さんはソーラーチャレンジについて雨で途中リタイアしたエピソードを紹介し、「北

見のソーラーカーレースが中止になったのは残念。再開してほしい」と訴えました。

また、地球の人口が50年後に百億人になることなどを説明し、「予測はされているが、必ず食糧危機問題が起こる」とし、「生物の食物連鎖から見ると、太陽の光と二酸化炭素、水で炭水化物を作る植物がすべての元になっている。植物は土に生きている。地球で最も大切な資源は土で、土を守っていかないと生きていくことがない。土を守るといことは農業、森を守ること」と自然の大切さを訴えました。

そして「人口が増えていく中でどう生きていくか、われわれそして未来の子供たちのために21世紀の課題として考えていくべき」と述べました。

また、土木の行政についても「自然の調和を壊すような土木ではいけない」と訴え、詰めかけた約千人の聴衆から盛大な拍手が送られました。講演の後、立松さんのサイン入り最新本の抽選会も行なわれ、有意義な講演会となりました。



最新技術

廃木材の再利用

埋め立てや焼却処理

今、我々が住み慣れた街北見市が、昨平成8年に開基100年を迎えました。この100年という時間の流れの中で人口が増加し、科学や経済の発展とともに、開発が進み、建物は次々と高層化し、道路は整備され、山々は切り崩され、住居地などに昔の面影も見えないほど、住みよい街へと変わっていきました。それと同時に様々な問題も多くなりつつあります。

我々業界でも、近年問題になってきているのが産業廃棄物であり、その処理方法が年々最も、難しくなっています。その中でも増加率が高いのが、ビル解体等に伴う「建設廃材」であり、この多くは埋立処理や、焼却処理されてきてはいるが、最終処理場不足を招く一因ともなっています。

建設省では、これらの廃棄物処理問題を受け、平成3年に「再生資源利用促進法（リサイクル法）」を施行し、本格的な削減に向けて、環境政策大綱を踏まえた「建設副産物対策行動計画」を策定しました。この計画は建設業全般におけるリサイクルの推進など2000年時点で、廃棄物再利用目標を80%まで引き上げるものと考えられています。

「建設廃材」には様々な物があるが、一般にアスファルト塊、コンクリート塊、廃木材などに大別されており、その量は前号の「コンクリート廃材の有効利用」の中で述べられている通り莫大であり、アスファルト塊、コンクリート塊については、ここ数年再利用処理されてはきているが、廃木材は埋立処理や、焼却処理されているのが現状です。



移動式破砕機による伐採現場での破砕

今回この廃木材の再利用について紹介しましょう。廃木材を分類するつぎの2種類に分ける事ができます。

①山林での造成工事等により、伐採される使用されにくい不要の樹木、枝条及び抜根等

伐採現場において移動破砕機（タブグラインダー）を用いて、破砕チップ化する。そこで得られた破砕物は砂等の異物を除去され、各地域事業団体との深いつながりをもって燃料として又は、土壌改良のコンポスト（堆肥腐葉土）や、生育牛の敷き材料として有効利用されています。置戸町の鹿ノ子ダムで発生した流木を回収し地元の生育牛の敷き材料として活用している事例もあります。又この敷き材料は牛の糞と混ざり堆肥に生まれ変わり作物の力になり自然に帰るといった大切な資源を無駄なくリサイクル利用されている一例です。

②建築、解体工事によって発生する廃木材

建築工事で出た廃材や解体さ

れた木材等は1トン当たり2,500円で処理業者が購入し、破砕処理される物と焼却処理される物に選別します。破砕チップ化された物は磁石で釘等を除去し、チップ車に積み込まれ製紙工場へと納入され紙に再利用されることとなり、その量は生産の5割近くにもなるそうです。

又、他には破砕チップをプレスして建材加工し製品化されたり、廃プラスチック材と加工して固形燃料や個人で使用できる薪ストーブの燃料などにも使用されリサイクル化されています。

まだまだ本格的な動きが少ない廃木材リサイクル。地域ぐるみでのリサイクルには時間がかかるとは思いますが、処理場不足問題への対応はもう目前に迫っていることは否定できません。

これからは、限りある自然と資源を大切に、一人ひとりが木材に限らず色々な廃材利用（リサイクル）を考えて行かなければいけない時代だと思います。

10m、直径15cm)を用い、氷床内部を約2km掘削し過去10数万年の地球の気候・環境変動を復元することを目的としています。掘削機の開発にあたっては、陸別町で氷を15m積み上げて予備実験を行いました。30分程度で2mの水コアを採取できるので、掘削能力は1日約30mですが、実際にはその半分程度しか掘り進めません。現地では水コアの電気伝導度を測定しました。南極の氷は非常に純粋で電気はほとんど通さないのですが、火山噴火の影響を受けて不純物が混ざると微弱な電流を通すようになるため、電気伝導度で不純物の量を調べることができます。

これ以外の精密な化学分析は日本に持ち帰って行うこととなります。同様の作業は今後約2年間続けられます。

1995年12月16日、昭和基地に第37次の観測隊が到着しました。彼らは本隊の留守家族から最初にして最後の便りを持ってきてくれました。いよいよドームふじ基地からの撤収です。ほぼ1年間過ごした我が家から去りたい気持ちと早く文明社会に戻りたい気持ちが入り混じった複雑な気持ちでした。雪上車から遠く基地を振り返ると、いつまでも手を振っている第37次隊が見えます。おもわず目頭が熱くなる。そんな最後の別れでした。

いま世界は 南極レポート

第36次南極地域観測隊員 亀田 貴雄
(北見工業大学土木開発工学科)



もちろん受信できません。日本のニュースは2日に1回程度受信する船舶用の新聞で知ることになります。滞在中に生じた阪神大震災やオウム事件は遠くから案じておりました。

南極に上陸して最初に行ったのは、当面必要となる生活物資や観測機器（約80トン）を昭和基地から搬入することです。その際には、新たに開発された超大型雪上車（排気量16,000cc）を使用しました。約2週間かかりましたが、高度順応に必要な期間であるとともに、途中5ヶ所に無人気象観測装置を設置するなど行動はすべて無駄なく計画されています。

到着直後の現地の気象は、昼間は-30℃ぐらいですが太陽が傾くと-50℃まで下がり、外作業では吐息がすぐに防寒用マスクに凍り付いてしまいます。

さて、ドームふじ基地での越冬観測の主な目的は、深層掘削や気象・雪氷観測などの気水圏系の観測です。

深層掘削は専用掘削機（長さ

和基地からは内陸部に約1,000km離れた「ドームふじ基地」という観測基地で、標高3,810m（富士山より高い！）の高原に設営されています。夏の最高気温が-23.6℃、冬の最低気温が-79.6℃という厳しい気候ですが、建物内部は発電機の廃熱を利用した温水暖房で15℃前後に保たれております。電話やFAXで日本と連絡をとることは可能ですが、テレビ放送はも

第36次南極地域観測隊員として1994年11月から約1年余、南極で雪氷と気象に関する観測をしてきましたので、その様子をご報告いたします。北見工大からの越冬隊員としては、同じ土木開発工学科に所属する高橋修平教授（第23次隊）、榎本浩之教授（第34次隊）、庄子仁教授（第35次隊）に次いで4人目となります。

私が越冬観測をしたのは、昭



ドームふじ基地全景

1・2級（土木・建築・管工事・電気工事）技術検定試験の実施予定

例年の日程に基づいて作成した予定表です。詳しい日程は、申込受付期間の1、2ヶ月前に確認してください。

●○ → 1級学科・1級実地
○ ○ → 2級

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実施機関
土木		1級学科試験 1級実地試験	1級学科試験 1級実地試験			2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	(財) 全国建設研修センター (土木試験課) ☎03 (3581) 0138
建築	1級学科試験 1級実地試験	1級学科試験 1級実地試験			2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	(財) 建設業振興基金 (試験研修本部) ☎03 (5473) 1581
管工事				1級学科試験 1級実地試験	1級学科試験 1級実地試験			2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	(財) 全国建設研修センター (管工事試験課) ☎03 (3581) 0847
電気工事	1級学科試験 1級実地試験	1級学科試験 1級実地試験			2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	2級学科試験 2級実地試験	(財) 建設業振興基金 (試験研修本部) ☎03 (5473) 1581

開基100年の足どり 君が生まれた時、北見は

(平8~昭42)

北見市は昨年、明治30年北光社移民団と屯田兵により開拓の跡が下ろされてから1世紀の歴史を刻みました。
開基100年の足どりを土木建築中心に振り返り「君が生まれた時、北見は」を年表で紹介し、第7号では平成8年から昭和22年までを掲載します。(参考文献：北見市史・年表1987年発行)

西暦年号	出来事
1996年 平成8年	5. 25 オホーツク木のプラザ奈町にオープン 6. 11 緑ヶ丘トンネル完成 7. 15 北見市開基100年式典
1995年 平成7年	3. 17 地ビール・オホーツクビール誕生 - 人口11万人突破
1994年 平成6年	3. 16 日赤看護大、北見市に建設決定 4. 28 オホーツク圏地域食品加工センター開所 12. 19 豊地大橋(西8号L=223m) 開通 12. 20 夕陽ヶ丘通の三楽園橋開通
1993年 平成5年	5. 20 モイブスポーツワールド竣工 6. 28 市営球場新装オープン 10. 7 国道333号旭野トンネル完成 11. 1 銀河橋(西11号L=252.5m) 完成
1992年 平成4年	3. 3 道道北見美幌線美幌トンネル開通 7. 31 北見工大地域共同研究センター開所 10. 1 J R石北線東部高架完成 12. 18 南大通・銀河線立体交差完成
1991年 平成3年	3. 15 中央小学校、道庁建築知事賞受賞 9. 22 全国初の公道使用ソーラーカーレース開催
1990年 平成2年	11. 9 北見中央広域農道・平成高架橋完成 12. 5 中央道路(北見道路)開閉百年記念式典
1989年 昭和64年 平成元年	2. 28 ちほく高原鉄道開通(開業は6.4) 4. 5 北見花弁園芸術市場開業 5. 15 富里湖森林公園オープン 11. 新火葬場(やすらぎ苑)使用開始 11. 14 豊地大橋(西6号)完成 12. 16 旭野メビウススキー場完成
1988年 昭和63年	3. 31 富里小中校、常川小中校 7. 初の10階建て公住完成 8. 6 記録的豪雨(40分で65ミリ) 10. 30 国道333号サロマトンネル開通
1987年 昭和62年	3. 17 市がテレポート構想の地域指定 3. 西相内小学校廃校 10. 20 富里ダム完成 11. 2 都市間バス北見・旭川開運行
1986年 昭和61年	2. 3 光ファイバーケーブル敷設工事始まる 4. 20 ハッカ記念館完成 4. 28 高知市と姉妹都市提携 5. 18 市民1万本植樹を実施 11. 1 石北線に「西北見」「愛の野」駅を開設 12. 12 北見活性化ビジョン懇談会、「きたみ21世紀レポート」を市長に提出
1985年 昭和60年	3. 5 イトーヨーカ堂北見店オープン 5. 16 韓国晋州市と姉妹都市提携 5. 17 最高気温27.1℃、最低気温-1℃ 8. 5 明治大学ラグビー部初の合宿 8. 23 2番街オープン 暴力団抗争事件続発
1984年 昭和59年	4. 15 北海学園北見女子短期大学開校 7. 10 国道333号ルックトンネル着工 11. 1 北網園北見文化センター完成 12. 5 京セラ北見工場カメラ生産へ
1983年 昭和58年	3. 22 北見市立体育センター完成 4. 6 北見緑蔭高校開校 8. 25 北見ハッカ工場閉場式 10. 1 新北見駅完成 11. 1 歩行者専用横断地下道完成 11. 15 東相内地区にトラック団地完成
1982年 昭和57年	1. 27 道立北見病院新築移転 3. 24 上仁頃中学校開校 4. 6 美山小学校開校 4. 20 北見工業技術センター開所式 5. 10 歩道のレンガ舗装工事開始 6. 6 道立体育センター落成 7. 24 北見東急インオープン、地上12階 8. 23 きたみ東急百貨店開店 11. 19 北見大橋(常呂川)建設着工 12. 25 北見駅の解体始まる
1981年 昭和56年	2. 22 豊地小学校新校舎落成 4. 13 東急ビル上棟式 8. 8 一番街オープン 10. 18 北見旭野第1幹線水路(常呂川~清月~小泉~旭野)延長10kmの改修工事開始 緑小学校開校、校舎落成 11. 1 北光小学校校舎落成 11. 28 工業技術センター完成
1980年 昭和55年	4. 7 北光小・緑小学校開校 6. 29 東相内中学校校舎落成 11. 10 北見赤十字病院新館落成 11. 15 小町川大橋(L=289m)完成 11. 27 緑ヶ丘屯田通もみじ橋(L=29m)開通 11. 28 石北大通公園の歩道整備と植樹開始 12. 13 若松の金城、川東の一部の営農用水が通水 12. 21 下仁頃小学校校舎落成
1979年 昭和54年	2. 1 北見市新総合計画審議会が第1期基本計画案を市長に答申 4. 20 市人口10万人に達する 6. 1 富里ダム本体工事開始 6. 15 第3住宅団地(三輪地区)造成開始 9. 5 東急ビル起工式 10. 21 上常呂中学校校舎新築落成 11. 21 若松大橋(L=1,294m)完成 12. 1 東陵中学校新校舎落成
1978年 昭和53年	4. 1 小泉中学校開校 6. 24 エイトビル6階完成 8. 7 消防庁舎新築 9. 30 中央道グリーンベルト完成 11. 30 美山地区陸橋(L=150m)完成 12. 18 北見夜間急病診療所開設



平8 緑ヶ丘トンネル開通



平成4 J R石北線東部高架完成



平2 平成高架橋完成



昭52 J R石北線連続立体交差事業完成

西暦年号	出来事
1977年 昭和52年	4. 1 高栄中学校開校 4. 17 北海学園北見大学開学 6. 9 目の不自由な人のために点字タイル舗装 7. 20 北見総合卸売市場造成工事開始 8. 3 大通西2に音楽を奏する信号機設置 9. 28 石北線連続立体交差事業竣工 10. 15 大和に粗大ゴミ処理施設完成 12. 1 高栄通跨線橋(西4号L=315m)開通
1976年 昭和51年	4. 8 北海学園北見大学起工式 6. 1 まるいデパート新館落成 7. 12 石北線大歩道橋(大通西3)完成 7. 大和ゴミ拾場汚水処理場完成 10. 17 鎮魂供養碑の除幕式 11. 15 北海学園北見大学校舎完成 12. 1 川東学園園舎竣工
1975年 昭和50年	4. 16 友楽座が閉館 6. 3 広郷浄水場完成 6. 13 北見地区衛生施設組合娯楽処理場竣工 6. 28 北見東京電波社屋・工場完成 8. 5 若松自然休養センター完成 11. 10 石北線連続立体事業鉄南跨線橋完成
1974年 昭和49年	3. 1 工業団地造成開始 3. 30 昭和41年以来の北見地区道管灌漑排水事業完成 7. 13 新競馬場完成 8. 25 小泉河川敷運動公園開園 10. 12 上常呂金比羅橋完成 11. 7 サイバネット北見工場新築の起工式 12. 11 中央公園の造成完了、開園 12. 12 北見地方合同庁舎落成
1973年 昭和48年	4. 14 市民温水プール完成 4. 29 北見フラワーパルク園開園 6. 10 北見パークランド開園 6. 14 市内の火災報知器67基撤去 6. 19 イトムカ紙業所、模紙と精練部門閉鎖 7. 15 常盤橋起点のサイクリングロード(5.62km)完成 12. 8 2条商店街アーケード、カラー舗装完成
1972年 昭和47年	3. 31 北見公益質屋閉鎖 3. 31 北見小学校廃校 4. 1 三輪小学校開校 4. 1 北見市環境条例公布 8. 3 1条商店街アーケード完成 8. 15 工業高校夏の甲子園出場 9. 1 北見市民会館落成 10. 20 U11 B北見放送局開局 10. 27 栄橋(相内地区)完成 11. 20 南相内地区農免道路の竣工 39号線東相内、三輪小、東7号線の横断歩道橋完成 北見市水稲作2,891町歩と最大面積に達するが昭和47年以降急減
1971年 昭和46年	1. 8 特別養護老人ホーム「光の苑」開園 3. 29 銀座商店街アーケード完成 5. 1 ツツジ公園完成 5. 11 小公園の噴水完成 5. 20 北見卸売センター完成 5. 31 ビアソン記念館完成 9. 23 北見宮林署人工造林1万ha達成 11. 17 富士銀行北見支店閉鎖 12. 21 常川地区、別着の沢に簡易水道通水
1970年 昭和45年	1. 29 勤労青少年ホーム新築 2. 10 北見市公設地方卸売市場落成 7. 1 市内中心部全面的に駐車禁止 8. 1 イトムカ紙業所33年の歴史を閉じる 8. 11 柏崎高校夏の甲子園出場 10. 19 国営北見地区畑地総合土地改良パイロット事業の起工式、富里で小泉小学校の全工事完成 11. 5 市都市計画の西部土地区画整理事業と泉地区土地区画整理組合整理事業の完工式 12. 13 閉成小学校改築工事完成
1969年 昭和44年	2. 2 若松市民スキー場開校 4. 1 小泉小学校開校 4. 1 市街地国道39号線全面駐車禁止 6. 2 相内地区道管灌漑排水事業完成 6. 12 米岡エリザベス市と姉妹都市提携 6. 23 大和に市営ゴミ拾場移転 6. 高栄団地の造成工事開始 8. 13 緑ヶ丘高配水池造成工事着工 8. 24 北斗高校新校舎落成 10. 24 道道北見若松間道路開通 11. 25 H T B北見放送局開局 12. 24 蘭園橋完成 12. 26 スカイビル落成
1968年 昭和43年	1. 21 北見東宝ビル完成 4. 1 西小学校新校舎完成し常盤町に移転 4. 大雲ダム着工 10. 19 北見市総合計画策定審議会「基盤整備」「社会開発計画」「産業開発計画」の3部会設置 北見農業会館新築、屯田町に中央通全面駐車禁止、1・2条西1~4丁目までと東1~2丁目まで片側駐車 北斗高校第3期工事完成
1967年 昭和42年	5. 26 北見工業大学グラウンド完成 8. 12 きたみ学園園舎竣工、工費1,230円 10. 1 稲荷神社跡にロータリー完成 10. 6 市立図書館・博物館とん田公園内に完成 11. 30 警察庁舎 12. 13 市の水道、旭野町市街地までの分水工事完成 12. 18 北見林務署新庁舎青葉町に完成 12. 22 税務署庁舎青葉町に完成 12. 26 管内初の横断歩道橋設置(大通東9) 市内に石油スタンドの設置若し

開基100年の足どり 君が生まれた時、北見は

(昭41~昭22)

西暦年号	出来事
1966年 昭和41年	4. 1 北見工業大学設置 5. 28 大正ゴルフ場(9ホール)完成 6. 30 2条西1~3丁目間アーケード工事開始 7. 9 大通郵便局新庁舎完成 8. 1 北見市民憲章制定 8. 23 北見電話局起工式 10. 5 4条東2に北見林業会館新築 10. 7 雨のため、蘭国橋・無加川橋の橋脚の一部流失し不通 11. 10 11条東2に北見税務部の新庁舎完成 11. 25 仁頃10号橋完成 12. 5 西小学校跡地の名称「とん田公園」に
1965年 昭和40年	6. 21 大正~仁頃間道路3,260m開通 9. 14 HBC北見テレビ局開局 10. 29 上常呂駅前舗装完成 11. 6 6条西1に富国生命ビル新築 11. 8 大通西4に住友生命北見支社社屋新築 11. 13 北見信用金庫本店舗完成 12. 4 西小学校第2期工事完成 12. 14 北上浄水場完成 12. 24 7条西1にホテル墨部新築
1964年 昭和39年	3. 22 川東分校、南小に統合 4. 1 西3号線道路、道道に昇格 5. 2 北見工業高等学校開校 5. 28 陸橋(仁頃8号の沢)完成 6. 15 STVテレビ本放送 7. 10 小泉下水道終末処理場完成 10. 26 上水道の常呂川取水口新設工事着手 10. 28 南部地区土地面整理事業の完成 11. 1 北光に道立北見職業訓練所完成 11. 16 市に初めてコンピューター導入 11. 18 北光西2号の蘭楽橋完成
1963年 昭和38年	1. 16 市下水道条例、議会で可決 5. 4 緑ヶ丘大正道路完成 5. 25 東陵運動公園の市営球場完成 7. 中央通舟町郵便局~西3号線まで舗装工事開始 8. 28 豊地に簡易水道 11. 6 道道北見網走線(通称喜多山道路)開通 11. 19 間成橋(北見津別線L=99.4m)完成 12. 相内簡易水道通水
1962年 昭和37年	6. 10 道道北見戸森の常盤地区580m舗装工事着手 6. 18 市終末処理場施設工事、下水管工事と併行して開始 6. 27 北5条ビル(市役所増築庁舎)完成 6. 27 小泉団地造成地鎮祭 8. 3 三輪に北見陸運事務所新庁舎完成 9. 19 小泉終末処理場建設地鎮祭 10. 1 東相内木工団地落成 11. 3 2条西1~3丁目道路舗装完了 12. 5 国道39号美園跨線橋(西17号)完成 12. 8 北中学校体育館と全校舎完成 12. 23 東相内中学校改築完成
1961年 昭和36年	1. 24 仁頃地区無灯火47戸通電 2. 28 北見商業高等学校設立 4. 28 常盤公園開園 9. 8 北海道放送北見放送局舎完成 9. 20 中央通と学園通の交差点より北525mの舗装完了 10. 8 北見会館(経済センター)完成 11. 23 金市館開園(ビルディング百貨店跡地) 11. 24 北見郵便局舎完成 11. 30 北見老人ホーム総合園舎竣工
1960年 昭和35年	4. 1 北見工業短期大学開学 6. 20 大野国道を国道39号と改称 8. 8 常盤公園に市営紅輪球場完成 9. 13 道道北見常呂線の大和地区790m完成 10. 28 緑ヶ丘公園開園 11. 24 北海道電力北見支店落成 11. 25 北中学校開校 11. 29 さかえ橋(豊地西6号L=47.4m)完成 3ヵ年計画で相内の木工団地の造成開始
1959年 昭和34年	1. 14 北見自動車学校開校 4. 7 無加川橋(L=152m西3号線)完成 7. 11 8条西1丁目北見市青少年補導センター開所 7. 20 北見老人ホーム専用水道敷設工事着手 7. 27 中央小のボラ、トド松65本植樹工事のため切る 9. 4 金比羅橋(常川)完成 10. 16 2条西2交差点に自動信号機取付 10. 21 端野仁頃若佐間産業開発道路の起工式 11. 1 北海道農業試験場北見支所新庁舎落成
1958年 昭和33年	2. 25 大通西6石北線踏切に自動道新機 6. 3 駅前、中央通1条と2条の横断歩道に白線表示 7. 中央通り会議所前より北440mの舗装工事開始 8. 31 北見老人ホーム新築1期工事着手 9. 12 柏崎高校新校舎落成 10. 3 東陵中学校の樹齢200年の柏の木を舗装工事のため切る 11. 8 火災報知器、市内50ヶ所に設置 11. 21 北見電話電報局落成 12. 18 無灯火であった常川地区44戸通電
1957年 昭和32年	1. 4 法務合同庁舎、寿町に完成 3. 8 芝浦精糖北見工場引込線工事完成 5. 2 北小学校新築工事着手 5. 10 小泉地区に柏崎高校新築工事着手 5. 国道39号線東3~6丁目まで舗装開始 10. 1 芝浦精糖北見工場操業開始 11. 1 北小学校開校 11. 20 仲の沢橋(豊地)完成 12. 17 柏崎高校、三栄町校舎から小泉へ移転 12. 19 藤学園、旧市役所利用の校舎から三栄町の旧柏崎高校の校舎へ



昭41 北見工業短大、4年制大学に昇格



昭39 小泉下水道終末処理場完成



昭30 北見市役所庁舎完成



昭30 北見市営ガス供給開始(ガス工場)

西暦年号	出来事
1956年 昭和31年	2. 11 藤女子中学校・高校、旧市役所庁舎を校舎として開校 5. 1 し尿汲み取り、ごみ処理の市営事業開始 5. 11 若松橋完成 7. 11 中央通駅前から5条まで歩道両側舗装工事開始 7. 25 新田橋(北光訓子府川)完成 7. 市役所前小公園整備完了 8. 10 北見中央劇場開館 8. 10 芝浦精糖北見工場建築の地鎮祭 9. 30 北見市・相内村合併 10. 21 HBC北見放送局舎完成 10. 18 北見土地改良区、道管灌漑排水事業開始 12. 4 母子住宅30戸公園町に完成
1955年 昭和30年	3. 12 北斗高校が高校選抜甲子園大会出場 5. 11 北光に北見水田発祥の郷土を建立 8. 5 大通西2に東映劇場開館 8. 20 国鉄北見~徳別間、美幌~北見相生間レールバス運行 9. 27 北見市営ガス供給開始 10. 7 4条西7踏切に警報機設置 11. 5 北見駅前線橋(鉄骨コンクリート)完成 11. 25 北見市役所新庁舎完成 12. 23 相内橋(無加川)完成 ・昭和29年冷害に対する救済工事として各号線に砂利敷事業を行う
1954年 昭和29年	5. 31 市がブルトーザーB4型10tを導入 7. 15 市役所新庁舎、山上建設が6,200万円で落札 8. 12 天皇陛下・皇后陛下ご来北 9. 1 北海道警察北見警察署開庁 9. 6 市役所新庁舎起工式 11. 1 川東に北見養老院施設を開園 11. 1 北光地区に新火葬場完成 11. 6 市立図書館、公民館、中央町に新築移転 12. 6 市営ガスタンク中ノ島町に完成 12. 10 4条橋(小松川)完成
1953年 昭和28年	1. 16 大通西7に北海道倉庫事務所北見支所庁舎新築落成 2. 18 大通西1~西5の鉄道用地6,450坪旭川鉄道局から市が買収覚書交換 4. 1 南小学校新設 7. 11 国道39号線西1~東1丁目の舗装開始 8. 15 初の北見市営競馬開催 11. 16 道銀北見支店1条東1に新築移転 11. 20 相内小学校の改築工事完了 12. 1 常盤橋(L=104×W=6m)完成 12. 20 上常呂簡易水道完成、70戸に通水 ・北見市部の常呂川左岸の完成
1952年 昭和27年	1. 10 道立北見農業所開設 7. 17 大通東1に北見タクシー営業開始 8. 1 北見市字名・地番改正 8. 22 北見初のテレビジョン実験、小公園で 9. 1 道立北見児童相談所、幸町に開所 9. 16 常盤橋起工式 9. 北見バルブ工場竣工 12. 26 北見市上水道500戸通水開始 ・上水道工事に付随して市街地に消火栓を設置
1951年 昭和26年	2. 5 市内中心3小学校パン給食実施 7. 1 相内村役場庁舎落成2階建工事費379万円 7. 5 市の上水道工事着手 7. 27 4条西2に北見映画劇場開館 9. 27 1条西1に北海道銀行北見支店開店 10. 30 北見・留辺桑・上川・旭川4市町代表、イトムカから層雲峡に至る観光道路5kmの計画を開業序に陳情 11. 市街地の開闢工事、この2年間で1,630m 12. 13 3条西1に北洋相互銀行北見支店開店
1950年 昭和25年	1. 15 4条西2~3丁目の市営4条マーケット完成 4. 1 北見高等学校が北見北斗高等学校に 北見女子高等学校が北見柏崎高等学校 東相内中学校、相内中学校より独立開校 6. 中央通の大通~4条間街灯24柱設置 7. 8 北見電気通信部、中央小前に庁舎新築 7. 22 北見農協事務所、2条西1に新築移転 11. 市都市計画街路案、北海道地方審議会へ提出
1949年 昭和24年	1. 31 北見労働基準監督署新庁舎、10条東5に落成 5. 1 市役所、下仁頃、上常呂両出張所開所 5. 6 上常呂中学校竣工 5. 東相内中学校竣工 6. 10 駅前広場の緑地帯にオノコ・紅葉・松を植樹 6. 19 北光中学校竣工 9. 14 石北線に準急列車運行 11. 1 7条西4に北見市助産院開院
1948年 昭和23年	1. 1 警察北見方面本部設置 3. 21 下仁頃小学校全校、12.8復旧工事完了 4. 1 道立北見中学校が道立北見高等学校に道立北見高等女子学校が道立北見女子高等学校に 5. 1 市営養老院開設 11. 6 北見森林局新築庁舎落成 11. 23 小公園に図書館、市民館落成 ・下相内簡易乗降場設置
1947年 昭和22年	1. 8 北海道開発庁設置決定 4. 1 6・3・3・4の学制が決定 5. 1 北見森林局開局 5. 20 光西・南・東陵・上常呂・下仁頃・上仁頃各新制中学校開校 8. 5 北見税務署新設 8. 23 寿町に北見市営球場新設落成 9. 16 北見市開基50周年記念式典を西小学校で開催 10. 21 北見労働基準監督署開庁 10. 北見林務署設置

☆ 第8号では、昭和21年から明治30年まで掲載します。

野付牛モール

東部高架下周辺整備事業



英国産レンガと北欧系樹木採用



気になる風景

この工事は、東4号線から東8号線までの高架線下周辺の整備事業で約2kmの遊歩道を作るために行われています。工事は柏陽駅周辺の約2,800㎡(約130m)を英国産のレンガや北欧系の樹木等、外国製品と日本の製品を組み合わせデザインされました。

駅前には、ゲートとシェルターを、その横に駐輪場やヨーロッパ調にデザインされた電話ボックス、そして、その周辺に花壇や植樹帯を設け、一面にはレンガを使用しています。レンガは、花壇、緑石、舗装面に使われていて調和のとれたとても良い色を出しています。

舗装面には、3色のレンガと淡色の洗出平板を組み合わせた幾何学的な模様になっていて、花壇には、わざと色むらのあるレンガを使い、とてもきれいに仕上がっています。雨の当たらない高架下の花壇には、ベンチを設けています。雨上がりなどは、鮮やかなレンガの色がで

きます。ここで使用されているレンガは、イギリスのダッドリーという所で造られたもので、原材料となる良質の粘土に恵まれた場所で世界各国に輸出されています。一度イギリスからメーカーの人が来日し現場を視察したとき、デザインの良さに絶賛していました。花壇や植樹帯に使用されている樹木は、銀白色のブンゲンス

トウヒやメイゲツカエデ、ビャクシン等18種類の北欧系のもなどを使用し、レンガと調和がとれて、落ち着いた雰囲気になっています。来年度は、噴水や水路等のコミュニティゾーンが造られ、より一層素晴らしい場所になる予定です。今度、柏陽駅近くにお越しの際は、レンガ等の色合いや、珍しい樹木等をご覧ください。

'97 ウーマンパワー

網走土木現業所 事業部事業課
道路第1係 技師 小形 治子さん

今回は網走土木現業所で技師として勤めている小形さんをご紹介します。北見工業高校の土木課を卒業されている小形さんは、平成5年5月採用となり、主な仕事は、公共土木工事の設計書の作成及び監督業務等。うかがったときには、小清水女

満別線の橋梁工事と潮見台通り街路事業など計9本の現場を担当されていました。この仕事で小形さんが困るのは、経験による知識や判断力が必要とされるのですが、質問に即答できないことがあり、「現場の方にはご迷惑をおかけします」とのこと。それでも自分の現場が完成すると、その感動でこの仕事をしていて良かったと思うそうです。これからは「失敗したり悩んだりの毎日ですが、前向きに頑張っていこうと思います」と意欲的。お会いしたとき、笑顔で接してくれた小形さん。これからも、身体に気をつけて頑張ってください。



を自教へのの：雨てはかはくい私会私
心分えつバや。にきてちないるが社の
がのてれバさ。にきてちないるが社の
けかかくて、し。にきてちないるが社
てらだ行こく。にきてちないるが社
ほださつれて。にきてちないるが社
しもいてから、強。にきてちないるが社
い大。そ色も、く。にきてちないるが社
と事しな々、て。にきてちないるが社
思にす時々、ま。にきてちないるが社
います。と。は。にきてちないるが社
。と。は。にきてちないるが社

石崎 美由紀さん

私のお父さん

クイズ

A

B

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①～⑥の中から2つ取り除いてつなげるとAの風景になります。その2つとはどれでしょうか？

応募要領

官製ハガキに住所・氏名・年齢と学年を答えを書いて送ってください。

送り先：北見市北5条東2丁目
北見市役所都市建設部土木課
北見市土木技術協会クイズ係

締め切り：平成9年2月28日

景品：正解者の中から10名に千円の図書券を送ります。

いま 大学で

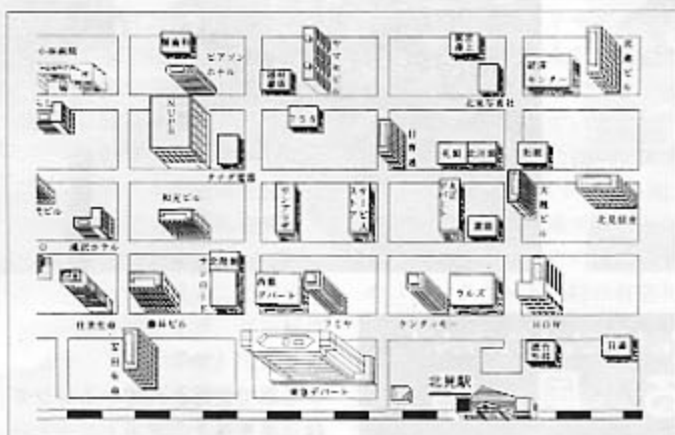
土木計画学研究室では、都市計画・交通計画を中心に、観光計画・景観工学・土木史・社会調査法など私たちの日常生活に深く関わりのある幅広い分野の研究をしています。ここでは、昨年実施した北見市の都心部駐車場に関する研究の一端をご紹介します。

北見市では、大規模な駐車場を擁するスーパー・ショッピング・センター（SSC）の相次ぐ進出により、都心部中心商店街の客足が減少の一途をたどっています。これは北見市に限らず、道内の地方中核都市全体に共通する現象です。都心商店街とSSCの最も大きな相違は駐車場の規模とされています。そこで、はたして都心部駐車場の実態がどれほど市民に知られているかを調査してみました。と言いますのも、当研究室の過去の調査によれば、都心部の駐車場は台数的には必ずしも不足しているとは考えられなかったからです。

現在、北見市には一般有料駐車場が46ヶ所、駐車容量は1,850台あります。これに、一般有料駐車場としても利用可能な日赤病院駐車場の217台、夜間は無料開放されている市役所駐車場の

都心部駐車場の認知度

北見工業大学土木開発工学科 中岡良司
土木計画学研究室助手



北見市都市部 どこに駐車場があるか知っていますか？

90台を合わせると、合計2,157台の駐車容量があることとなります。

アンケート調査は市内在住の372人のドライバーに対して実施し、内容は白地図に「在ることを知っている駐車場」と「利用したことのある駐車場」を描きこんでもらう方法をとりました。その結果、回答者全体に対してその存在が知られている駐車場の割合（＝駐車場認知度）は、拓銀横の北海パーキングが67.7%と最も高く、市内平均では22.8%でした。男女別では男性の平均21.4%に対し女性は25.6%と若干上回りました。また、通り単位の集計では、国道39号線沿い

が東急駐車場および駅前駐車場を中心に良く知られており平均33.2%と最も高い結果となりました。3条通りは31.2%、4条通りは21.5%でした。

他の分析結果を紹介する紙面はありませんが、結論から言えば、都心部駐車場の位置はドライバーの約2割程度にしか知られておらず、適切な駐車場案内システムが必要なこと、そのためにも分散している小規模な駐車場を大規模駐車場へ集約することが必要なことと指摘されます。当研究室では今後も北見市都心部の駐車場の在り方に深い関心を持って研究を進めていきたいと考えております。

土木工事と造園

ハーブを暮らしの中に



北見市は昭和初期に世界の生産シェア7割を占める「ハッカ王国」でした。ハッカと共に刻んだ歴史を再発見しようと、「香り彩るまちづくり推進機構」が設立され3年が経とうとしています。昨年から10ha規模のハーブガーデン（仮称 香りゃんせ公園）の造成にも7年計画で着手しています。ハーブのある暮らしは、自然と調和の取れた生活に近づくための手段の1つといえるのではないのでしょうか。

ハーブ（HERB）は、香草とか薬草、風味用植物と訳され、ヨーロッパで古くから香辛料、医薬品、染料、防腐剤などとして利用されてきました。

ハーブには、ミョウガ、ニラなど身近なものを含めてさまざまな種類があります。また、多くの効用があり、料理、薬、化粧品、香料、入浴剤、染料などに使われ、効果を発揮します。

主なハーブの効用は、カモミール（発汗、鎮静、利尿など）、ラベンダー（精神安定、鎮痛）、ローズマリー（若返りと老化防止）などで、これらのハーブは、体調を整えるだけでなく、肌の調子も整え

てくれます。

ほとんどのハーブは口にできるものですので、化学肥料や農薬はできるだけ使いたくないものです。病害虫や生育障害を避けるためにも、有機物（堆肥、腐葉土、ピートモスなど）を入れて土づくりをして、日照や通風をよくします。

また、害虫がつきにくいハーブ（ミント、ローズマリー、ペニーロイヤル、チャイブ、タイムなど）と混植するのも良いでしょう。なお、病害虫を見つけたらすぐに捕殺しましょう。

庭先からハーブを摘み、手軽なハーブティーを味わったり、庭仕事が好きな方は育てることから、香り豊かなハーブに接してみてください。きっとハーブが私たち人間を慈んでくれるやさしい植物だということに気づくでしょう。



私と職場

水元建設株
杉野茂俊さん



略歴
昭和49年12月17日生
平成5年3月 北見工業高校土木科卒業
平成5年4月 水元建設株式会社入社
会社概要
昭和29年設立
資本金 9,500万円

平成8年で入社4年目を迎え、会社、仕事ともに慣れたところです。

1年目は、国道333号の測量と写真撮影を教えてもらい、ただやることに追われる毎日。何をやるにも人に教えてもらい、少しでも迷惑をかけたくないと

う気持ちで必死でした。けど今思えば、ただ過ごした2年目よりも、忙しく仕事した1年目の方が勉強になった気がするし、自分でも良かったと思います。

しかし、測量と写真だけでは会社にも先輩たちにも認められない。認めてもらうためにも仕事（書類、現場、会社）を知り、考え、覚えることだと思い、3年目、釧路（鹿路ダム付替道路工事）施工者の1人として、別会社の人たちと仕事をしてきました。

水元建設の1人の技術者として、会社がJVの担当にしてくれたことが、自分にも自信が湧いたし、勉強にもなり良かったと思います。そして、4年目の平成8年は、川向の1つの現場を現場代理人として任せてもらい、会社にも先輩方にも認めてもらうチャンス。

1つの現場を終えることが自分にとって、大切な時期だと思っています。会社に入社して、チャンスをくれたことと、自分の知っていることをおしみにくく教えてくれる先輩方に感謝しています。

「環境と景観」テーマに北見で講習会

全日本建設技術協会

全日本建設技術協会とは、建設省、運輸省、都道府県市及び公社、公団などに勤務している建設技術職員を中心とした組織で昭和21年に創立し、現在会員数が全国で11万人以上となる大組織です。その北見市支部は昭和54年に発足し、現在会員数86名となっています。

毎年度全国各都市で、建設技術協会講習会を開催し、北見市が昨年開基100年を迎えたことに

伴い、第380回講習会が「環境と景観」をテーマに、平成8年10月14、15の両日、ホテルベルクラシック北見で開催されました。北見市開催は昭和60年と平成2年に次いで3回目となり、会場には全国から約1,000人が参加しました。

建設省をはじめ、北見工業大学名誉教授の清水昭典氏、北見工業大学教授の大島俊之氏、北見市都市計画課長の高橋捷彦氏



を含めて9名の方々による講義を出席者が熱心に聴講していました。

また、現場研修会が10月16日から19日まで4日間開かれ、阿寒、知床、網走方面を中心に計5ヶ所を見学しました。

協会活動日誌

- ◇土曜の日 10月12日、11月15、17、24日（現場見学会他）
- ◇研修見学委員会 10月31日～11月1日（札幌市 幌平橋、石山緑地、精進川）
- ◇講習講演委員会 7月17日（北見開基100年記念講演）
- ◇広報編集委員会 8月30日から1月17日まで、計5回
- ◇役員会 12月26日

新入・広報編集委員

新たに4人の方が委員になりました。

- ◇船山 啓司
（副委員長 船山組）
皆さんと協力して、より良い広報紙づくりを目指します。ご協力の程、よろしくお願い致します。
- ◇西堀 幸夫
（アース工業）
広報の仕事は初めてなので皆さんと協力して頑張ります。

よろしくお願ひします。

- ◇阿部 稔
（鐘ヶ江建設）
入社して9年目。まだまだ経験不足ですので、良い記事は書けませんが、頑張ります。
- ◇山中 崇
（小泉建設工業）
皆さんとともに、広報紙づくりに頑張ります。よろしくお願ひします。